

一 般 質 問 通 告 書

平成29年第1回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	高 田 豊 繁	1 堆肥センターの経営について	(1) 堆肥製造処理のより効率的な運用を促進する必要があると思われるが改善を図る考えはないか。 (2) 稼働開始から相当の期間が経過しているが、所定の検討委員会を設置して経営の民間移譲を図る考えはないか。	町 長 町 長
		2 各学校の洋式トイレの設置について	(1) 近年、各家庭や公共施設では洋式トイレが一般化しているが、各学校のトイレを改修する考えはないか。	教 育 委 員 長
		3 寺崎墓地周辺の用地取得について	(1) 寺崎墓地周辺の用地は、そのほとんどが民有地のまま保安林の指定を受けているようだが、この土地を買上げ、公用地とした上で保安林整備を図る考えはないか。	町 長
		4 役場新庁舎移転後の跡地利用計画について	(1) 役場新庁舎基本計画の策定と並行し、現庁舎跡地の再開発基本計画の策定や住民説明会を開催する考えはないか。	町 長
		5 地方交付税の増嵩対策について	(1) 町農道台帳の見直し整備を図り、地方交付税の増嵩対策を図る考えはないか。	町 長
		6 無料人材紹介業の実施について	(1) 町内における人材の有効な活動の場の提供や事業所の労働力の確保を図るために無料人材紹介業を実施し、町のホームページで広報活動を展開する考えはないか。	町 長
2	沖 野 一 雄	1 新庁舎を含む公共施設建築における強化木材CLT工法の採用について	(1) 第3回新庁舎建設住民説明会において、新庁舎の建築構造については、従来のRC（鉄筋コンクリート）構造を採用するとの説明があったが、強度の高さや耐震性、断熱性、デザイン性、工期短縮化などのメリットにより、近年注目され国の支援制度も始まっている「強化木材CLT（直交集成板）工法」を採用する考えはないか。また、今後の公共施設建築における選択肢の一つとして検討を進める考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年第1回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		2 新庁舎予定地へのアクセス道路の改良整備について	(1) 新庁舎予定地にアクセスする道路建設計画によると、県道から保健センター側への新設道路の建設及び新庁舎南側から県道につながる既存道路の拡幅を行う2路線の工事が計画されている。一方、保健センター側から北側の町道船倉・茶花線につながる幅員の狭い既存道路についても、利便性を高める上で重要なアクセス道路と目されるが、同計画に加えて改良整備を行う考えはないか。	町 長
3	大 田 英 勝	1 航空路線の開設と航空便の増便について	(1) 来年夏には「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が、世界自然遺産登録の予定となっており、奄美大島・徳之島への観光客の増加が見込まれる。現在本町は、鹿児島、奄美、沖永良部、那覇間に航空便が就航しているが、徳之島間にはない。今後増えるであろう徳之島への観光客を本町に呼び込むとともに、奄美群島・沖縄間の島伝い観光や周遊観光を推進できるよう、航空会社に徳之島路線の開設を要請する考えはないか。 (2) これまでの観光客誘致の取組の成果もあって、航空便を利用した入込み客が増加し、満席のためチケットが取れないとの声を聞くことが多くなった。今後も国立公園指定や世界自然遺産登録等で交流人口の増加が予想されるが、航空会社に増便を要請する考えはないか。	町 長
		2 子育て支援について	(1) 子育て支援策として、子ども医療費の助成等が有効だと考えるが、県内市町村の医療費助成の状況はどうなっているか。 (2) 議会でも幾度となく就学時の医療費無償化が提言されたが、未だに実践されていない。知事は、特に力を入れたい今年の課題は子育て支援であり、市町村長を説得してでも子どもの医療費窓口負担の無料化を実現すると表明した。今こそ、就学時医療費無償化を決断する時期だと痛感されるが、町長はどう考えているか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年第1回定例会 No. 3

順位	質問者	質問事項	要 旨	質問の相手
4	遠山勝也	1 新庁舎建設について	(1) 自然環境以外に観光資源が少ない本町に、これから50年以上島のシンボルとして建設される新庁舎をパナウル王国の宮殿をイメージした外観造りにして、新たな観光スポットにする考えはないか。	町 長
		2 農繁期の人手不足対策について	(1) 島内の農業においては、農繁期の人手不足が深刻で思うような規模拡大ができていない。若い人達が農業を志すにしても、家族だけではすぐに限界がくるように感じる。人手不足対策として人材派遣システムの構築が必要だと考えるが、町長はどう進める方針であるか。	町 長
5	川村武俊	1 ごみ処理について	(1) 新ごみ焼却処理施設が4月1日より稼働し、リデュース（排出抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）の「3R運動」とごみの有料化を進めるには、しっかりとした行政の意識と役割が不可欠であると痛感されるが、町長はどう考えているか。 (2) 生ごみを堆肥センターとタイアップして堆肥化する考えはないか。	町 長 町 長
		2 公共施設の跡地利用について	(1) 新庁舎が旧町立診療所用地一帯に建設されるが、茶花商店街の活性化対策として現庁舎の跡地を利用する考えはないか。 (2) 現ごみ焼却処理施設の跡地利用計画はあるか。	町 長 町 長
		3 農業の振興について	(1) 農業従事者の高齢化に伴う担い手の減少や規模拡大により、今後多忙期における人材確保が課題になると痛感されるが、人材や組織の育成を図る考えはないか。 (2) 農地整備事業後の防風林造成が遅れているが、スピード感をもって進める考えはないか。	町 長 町 長
6	町 俊策	1 観光振興対策について	(1) 本町の観光振興のメイン事業である大金久海岸から船倉海岸一帯の整備について、どのような内容で、年次的計画をどう進める方針であるか。また、その計画について、町民からさらなる意見や案を募り、町民参加型の	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年第1回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			<p>観光地づくりを進めることが肝要だと痛感されるが、町長はどのような視点に立って推進していく考えであるか。</p> <p>(2) 新ごみ焼却処理施設の稼働が間近であるが、本施設やヨロン駅、港の待合所から空港にかけての遊歩道を含めた一帯の新観光エリアについて、環境学習の場としても活用できるよう商工観光課，建設課，教育委員会が連携して，説明看板等を設置することになっていると思うが，どうなっているか。</p>	<p style="text-align: center;">町 長 教 育 委 員 長</p>
		<p>2 沿岸漁業の振興対策について</p>	<p>(1) 県に対し，増加するウミガメ被害の軽減化対策とウミガメの食害によると思われる藻場の減少対策として，海藻（藻）の養殖網の設置について要望したが成果を得ることが出来なかった。被害の決定的な理由説明や証明できる資料の提示ができなかったのではないかと反省しているところである。そこで，産（漁協），官（役場担当課），学（鹿大水産学部等）が連携し，町長が提唱しているシンクタンク（漁業関係の部門）を結成し，より確かな成果を上げる方策をとる考えはないか。</p>	<p style="text-align: center;">町 長</p>